# 図書館だより

第2号
２０１９年6月号

# スポーツで熱くなろう！

◎新年度が始まり、はや２ヶ月が過ぎました。みなさん、新クラスで新しい友人や仲間ができたのではないでしょうか。部活動においても、３年生が引退し、１・２年生中心の新たな体制でスタートする時期ですね。そんな時期だからこそ、本を読んで心を熱くしてみてはどうでしょうか。というわけで心を熱くするスポーツに関する本を紹介します。

## ①「高校サッカー　心を揺さぶる１１の物語」

安藤隆人　著

日本全国で本当にあった涙の青春ストーリー。全国出場を目指し、一生懸命にがんばる高校サッカー部員は全国にはたくさんいます。目標に向かって努力する。試合で負けて涙を流す。仲間と共に勝利を喜ぶ。すべてが二度とない青春の日々であり、一人ひとりに大切な物語があるのです。この本では熱く、泣ける、心を揺さぶる１１の物語が描かれています。

## ②「補欠の力」：元永知宏　著

高校野球甲子園の常連校、広島広陵高校。部員は、全員が寮生活、正月休み以外はほとんど練習漬けの日々を送る。広陵が強いのはなぜなのか？どうして卒業後に成長するか？「野球以外のことを大事に」「３年間野球をやりました、と胸を張れる」「仲間がプレーについて厳しいことを言ってくれる」など、人として成長するヒントを見つけることができます。

## ③「左手一本のシュート」：島沢優子　著

山梨県の中学バスケットボール選手でＮｏ１と言われた田中正幸さん。高校入学直前に１０万人に１人が発症するという脳動静脈奇形による脳出血で倒れてこん睡状態に。生死の間をさまよい、再びバスケットコートに戻った軌跡を紡いだノンフィクション作品です。また高校卒業後から始めた夢の第二章、パラリンピックへの挑戦も記されています。